



紹介者
設計課 係長 戸崎 誠 さん

▼どんな会社ですか
産業用装置の設計、部品の製造、組み立てなどを行っている会社です。従業員一人一人が常に高い目標を持ち、品質と顧客の満足を目指して、仕事に取り組んでいます。

▼どんな仕事をしていますか
産業用装置や治具の機械、電気、制御などの設計から組み立て、据え付けまでを一貫して行っています。
▼仕事で心掛けていることは
設計する装置の品質や機能はもちろんです。その装置を使う人にとって、使いやすいかどうかを常に意識して仕事をしています。
▼やりがいを感じるころは
この世に一つしかない「新しいもの」を作り上げるのは大変ですが、お客さまから完成した装置で「生産の効率が上がった」などの声をもたらしたときに充実感があります。
▼今後の展望は
もともとモノを作るのが好きなので、より精度や精密さが求められる半導体関係など、さまざまな要望に応えることができる装置を提供していきたいですね。

まちの企業 探検隊 ⑮ ラピアス電機(株) 八幡平工場 企業人による会社紹介

所在地 平舘8-153
資本金 3,500万円
代表者 福勢 慶昭
設立 昭和48年2月
従業員数 42人
電話番号 ☎74-2261
事業内容 産業用装置の設計、加工部品の組み立て製造など
主な取引先(順不同) キヤノン(株)、住友電装(株)、ソニー(株)、本田技研工業(株)、(株)牧野フライス製作所ほか



不妊に悩んでいる人へ
治療費を助成します
市は、不妊治療の経済的な負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。
■対象になる治療 県の指定医療機関で受けた、医療保険が適用にならない特定不妊治療(体外受精、顕微授精)
■対象者(次の条件を全て満たしている夫婦)
①夫婦のどちらか一方でも、市に住民登録している人
②県の「不妊に悩む方への特定治療支援事業」の助成金の交付を受けている人
■助成金額 夫婦1組に対して、対象治療にかかった費用から県の助成金を差し引いた額(1回の治療につき上限10万円)
■助成回数 夫婦1組に対して初年度は年3回、次年度以降は年2回を上限(期間は通算5年、通算10回)。
■申請に必要な書類
①県が発行した不妊に悩む方への特定治療支援事業受診等証明書と同事業交付決定通知書
②治療費にかかる領収書
③印鑑と申請者の振り込み先が分かるもの
詳しくは、市役所保健課係へ問い合わせください。

麻しん・風しん混合
予防接種をお忘れなく
麻しん・風しん混合(MR)の予防接種は、麻しんや風しんの免疫を高める上で、とても大事な予防接種です。予防接種対象年齢のときには、忘れずに受けましょう。
■本年度の対象年齢
▽第1期 生後12カ月から24カ月未満
▽第2期 小学校就学前(平成17年4月2日～18年4月1日生まれの人)
▽第3期 中学校1年生(平成10年4月2日～11年4月1日生まれの人)
▽第4期 高校3年生(平成5年4月2日～6年4月1日生まれの人)

保健のひろば

☎・内線1153 市役所保健課

福祉 NETWORK 環境のみらい

☎・内線1137 市役所市民課

県の光化学オキシダント注意報の発令状況などは携帯電話でも確認できます(上の2次元コードを読み取りください)。

介護のココロ

☎・内線1185 地域包括支援センター

◆認知症予防のための「ココロからダンス」

楽しんで何かをすることは、認知症予防の特効薬と言われています。昨年、岩手医科大学の高橋智准教授は認知症予防のための運動プログラム「ココロからダンス」を考案しました。ダンスの振り付けは、第一線で活躍する南流石さん(ダンサー・振付師)が担当しています。

「ココロからダンス」は、座っていてもでき、激しい動きはほとんどありません。メロディーに合わせて声を出すなど、楽しい動きと笑顔で「心も体も気持ちよくなるダンス」です。いきいきサロンや老人クラブの活動、高齢者のつどいなどで活用ください。ダンスのDVDは貸し出しています。市地域包括支援センターまたは市社会福祉協議会(☎74-4400)まで問い合わせください。



ぜひDVDの活用を

◆ご注意ください「光化学オキシダント」

光化学オキシダントは、自動車の排気ガスや工場の煙に含まれる窒素酸化物や炭化水素などが、紫外線と反応することで発生すると言われ、特に日差しが強く気温が高く、風が弱いこれからの季節に多く発生する傾向があります。濃度が高いと、頭痛や吐き気、息苦しいなどの健康被害を引き起こします。

防災無線などで注意報が発令されたときは、次のとおり対処してください。

- ①屋外での激しい運動を避ける。
- ②外気が屋内に入らないように注意する。
- ③不要な外出と自動車利用を控える。

光化学オキシダントによる健康被害が出た場合は、洗顔やうがいをして安静にしましょう。時に、子どもや高齢者は症状が出やすいので注意してください。また、症状が良くならない場合や手足のしびれ、呼吸困難、失神などの症状が出たときは、速やかに医師の手当てを受けてください。

No.13 西根ミニバスケットボール少年団
西根ミニバスケットボール少年団は、昭和60年4月に設立したスポーツ少年団です。
現在は、小学校1年生から6年生まで34人が所属。フットワークなどの基本練習やシユートなどの個人練習が中心ですが、大会前には、3対3などゲーム形式の練習に力を入れています。また、5月22日には、磯鷄ミニバス少年団(宮古市)と練習試合や交流会を行うなど、被災地の仲間の支援にも取り組んでいます。
団員には、チームの仲間を思いやる気持ちとともに、父母を含む支えてくれる人々への感謝の気持ちを大切に、礼儀正しくマナーを守ることができるよう、活動を通して伝えていきます。
■練習日時 毎週月・水曜日午後5時から7時まで、毎週土または日曜日午前9時から正午まで
■練習場所 市総合運動公園体育館 または市内小学校体育館
詳しくは、同少年団指導者・森政彦(☎75-10542)まで。



チームワークを大切に、本年度のチームの目標は「県大会出場」です



シュート練習に励む団員

わたりスポーツ少年団